



当時の趣を残して 石川橋の架け替えが完了

市街地整備課
☎027・898・6967

広瀬川に架かる石川橋（大手町三丁目、平和町一丁目・二丁目）を昭和25年の改修から70年ぶりに架け替え。平成30年8月に着工し、本年7月末に竣工しました。旧橋は大正4年に架設された本市で最初の鉄筋コンクリート橋です。

旧石川橋の写真を探しています

当時のイメージを再現するため、旧石川橋の高欄が映った写真を探しています。同橋には照明灯が設置されていた跡がありましたが、形状を確認できる資料が残っていません。確認できる写真を持っている人や心当たりのある人は市街地整備課へお知らせください。



今回の工事の特徴



1 旧橋の雰囲気や踏襲した天然石の親柱と高欄を設置。



3 旧橋を保存するため、親柱と高欄は臨江閣とるなばあくを結ぶトンネル上部に原形のまま移設。



2 4本の親柱に刻まれた橋名や河川名は市文化協会書道部会長である大井美津江さんが揮毫。



4 旧橋の解体前には三次元レーザー測量によりデジタルデータとして保存。

豆知識 消費者の豆知識

布団のクーリングオフ

事例 「布団の点検で」と業者が訪ねてきました。敷布団を勧められ、曖昧に答えたら業者が和室に布団を敷きました。20万円を請求され、高額なので最初は断りましたが、「敷いてしまったので」と食い下がられ、契約書に署名しました。布団を使用したら、返品できないのでしょうか。

回答 契約書を受け取った日から含む8日以内であれば、クーリングオフができます。布団は使用していてもそのまま返せばよく、業者は受け取った代金を返金しなければなりません。業者が布団の点検やクーリングオフに訪問してくる度に、次々と契約をしてしまったという高齢者からの相談もあります。おかしいなと思ったら、消費生活センターに相談してください。

消費生活センター
☎027・230・1755



前橋四公の城下町を歩く Vol.4 前橋藩主酒井雅楽頭家

文化国際課
☎027・898・6992

江戸時代に現在の市域内を治めた、前橋藩主の酒井雅楽頭家と松平大和守家、総社藩主の秋元越中守家、大胡藩主の牧野駿河守家の「前橋四公」。

このシリーズでは、城下町を歩いて発見できる近世前橋に四公が生きた痕跡と番外編を、全5回で紹介いたします。今回のテーマは、酒井雅楽頭家です。

関東の華・前橋

150年にわたる治世で城下町前橋を築いた酒井雅楽頭家。幕政で「大老」職にあり、「下馬將軍」と呼ばれるほどの権勢を誇った4代忠清をはじめ、本市民でなくともその名を知られる名門譜代大名です。

1601年、初代重忠が厩橋城（のちの前橋城）に入封。幕府に与って北関東の押さえであり、徳川家康は重忠を城主とするにあたり、「汝に関東の華をとらす」と伝えたとされています。2代忠世が、家康の駿府城への移城に賀詞言上し「雅楽頭」を命ぜられ、以後酒井家が雅楽頭を任ぜられるようになります。

名君・酒井忠孝公

5代忠孝は前橋藩の体制整備に尽力します。藩校「好古堂」「求知堂」の創設による教育振興や、前橋風土記の編さんによる文化振興など文治政治を展開し、あらゆる分野で治績を残しました。歴代随一の名君と呼ばれ、「忠孝公の墓石のこけを水で飲むと病気が治

る」といわれたほどです。また、市日を制定し、城下町を整備。これが「初市まつり」の起源といわれています。



初市まつりのお焚き上げ（前橋八幡宮）

龍海院に眠る歴代藩主

紅雲町の古刹「龍海院」。境内を南西に進むと、荘厳な雰囲気漂う空間が。初代から15代まで歴代藩主の巨大な藩主墓が立ち並ぶ「前橋藩主酒井氏歴代墓地」です。1964年に市の指定史跡第一号として登録されて以降、市民の力により墓域全体の整備がされており、特に姫路へ国替えした9代以降の藩主墓もそろっていることは全国的にも珍しいとされます。国替えにあたり、在藩家老・川合勘



龍海院

酒井家歴史観光ガイド

前橋学市民芸芸員が①八幡宮コース（熊野神社～大蓮寺～妙安寺～八幡宮）と②龍海院・長昌寺コース（龍海院～殿島神社～長昌寺～清光寺）を案内します。

日時=①11月1日(日)10時～12時 ②11月15日(日)10時～12時

対象=一般、各コース先着20人

申し込み=①は9月23日(水)～10月7日(水) ②は10月12日(月)～26日(月)に文化国際課 ☎027-898-6992へ



前橋藩主酒井氏歴代墓地